

高まる防災意識 - 住民の一層の積極参加を！

9月1日（日）防災訓練結果

9月1日（日）11時から、震度5強地震発生を前提で、自主防災隊155名、住民多数参加のもと以下のような防災訓練が実施されました。

1. 安否確認訓練

全戸数1950戸のうち、在宅1639戸のうち白布掲示は1493戸で実行され、在宅家庭白布掲示率は91.1%（前回78.7%）と高い掲示率となりました。掲示率100%の丁目もありました。

これも各丁目自主防災隊員による事前告知活動や住民の意識の高まりの結果だと思われます。災害はいつ起こるかわかりません。日頃から即座に対応できるよう心がけておくことが大切です。



2. 消火訓練

消火訓練は、住民に参加を呼びかけて行われています。

大地震発生時には、多数の場所で火災が発生し、住民自らが中心となって消火活動を行うことが想定され、そのための消火訓練といえるでしょう。

消火訓練内容は、消火ホース格納箱からホース等を取り出し、消火栓を開き、ホース接続・展開まで行われます。

消火活動で一番大切なのは、周辺住民の協力ですので、住民皆さんの参加のもと住民同士が協力する関係作りが大切だと思います。





3. 災害対応訓練と情報収集訓練

各丁目自主防災隊毎に、火災、家屋倒壊、交通障害、負傷者発生等について独自の真に迫ったシナリオを作り災害対応訓練が行われました。

その災害情報を各丁目指揮所と本部との間でトランシーバーによる収集授受が行われました。いろいろな情報が錯綜し混乱した場面もあったようですが、何とか目的は達成されたようです。



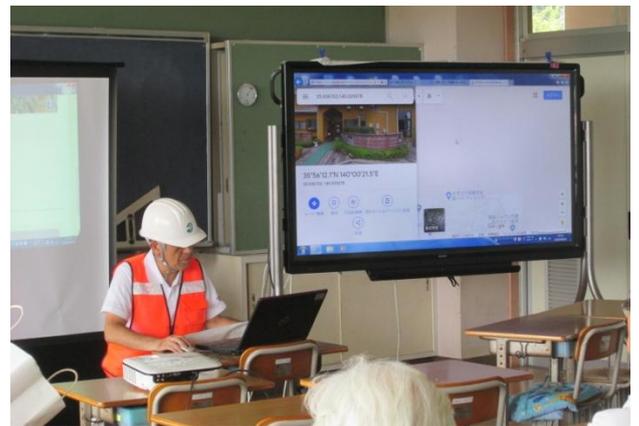
4. 守谷市と連携した防災訓練

毎年9月の防災訓練は、守谷市の防災訓練と連携して進められます。

守谷市の訓練指示は、①災害対策本部設置訓練、②情報収集訓練、③災害対応訓練をそれぞれ自治会の実情に応じて実施するということですが、みずき野町内会では、①から③までのすべての訓練が実施され、その実施内容と結果が守谷市に報告されました。

5. 災害発生状況電子モニター見学

今回、郷州小学校避難所で守谷市の災害発生状況の電子モニター見学が行われました。みずき野町内の災害発生状況もモニターに反映されていて、守谷市への災害発生状況の情報は、うまく伝わったようです。電子モニターへの反映には、守谷市公式アプリ Morinfo（もりんふお）による災害発見現場から位置情報活用による投稿に基本的に限られていますので、今後の災害発生状況の連絡方法が課題のようです。



災害発生状況電子モニターの活用方法について守谷市役所職員から説明を受けました。



（ 真剣な眼差しで説明を聞く町内の皆さん ）

（ 防災担当 中谷副会長 ）